

20年間にわたってNASAに勤めた天体物理学者が 生み出した組織マネジメント法「4-Dシステム」とは？

BOOK REVIEW



『NASAのチームビルディング 組織パフォーマンスに革命を起こす 「4-Dシステム」』

チャールズ・J・ペレリン 著
アチーブメント出版 定価2,100円(税別)

★こんな方におすすめ

- 社内のチームワークを強化していきたい経営者
- プロジェクトを成功させたいリーダー
- 社内のコミュニケーションを円満にしたいすべてのビジネスパーソン

スペースシャトルの打ち上げ、国際宇宙ステーションの運用、アポロ17号以来となる月面探査計画など、国家的プロジェクトの成功した理由はどこにあると思いますか？ それはチームのパフォーマンスにほかなりません。著者はアメリカ航空宇宙局(NASA)で天体物理学部門のディレクターとして活躍。チームワークを劇的に向上させた組織マネジメント法「4-Dシステム」を開発し、プロジェクト成功をサポートしてきました。

「4-Dシステム」とは何か？ リーダーシップの構成要素は、色分けされた4つの領域(ディメンション)に分けられる模様。

- 青(先見型)＝理論を重んじ、直感で情報を得る
 - 緑(育成型)＝感情を重んじ、直感で情報を得る
 - 黄色(受容型)＝感情を重んじ、知覚で情報を得る
 - オレンジ(統率型)＝理論を重んじ、知覚で情報を得る
- これからの企業が業績を上げるには、社員一人ひとりの能力を高めることが不可欠。しかし、チームワークによる相乗効果が発揮されれば、普通の能力の人材しかいなくても、最大の効果をもたらすことができるのです。

人材が固定的な中小企業はチームワークのよさが絶対条件。組織マネジメント、チームワークについて勉強したい方にはおすすめの一冊です。